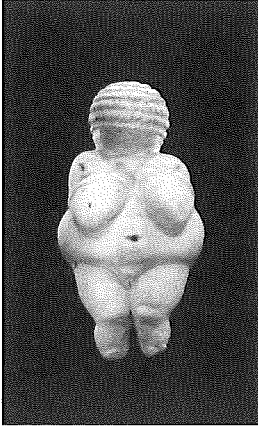
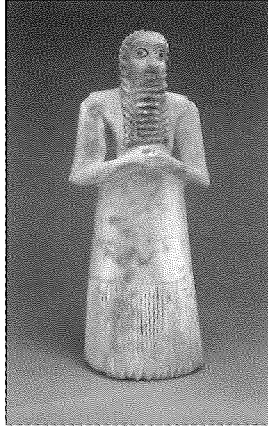


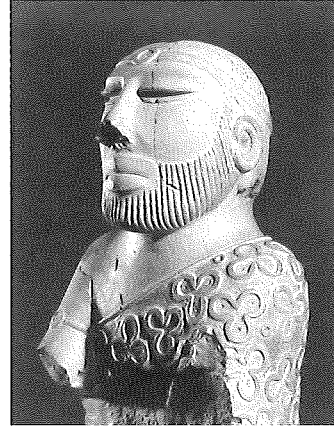
〔I〕 資料A～Eに関連して、設問1～5に答えなさい。



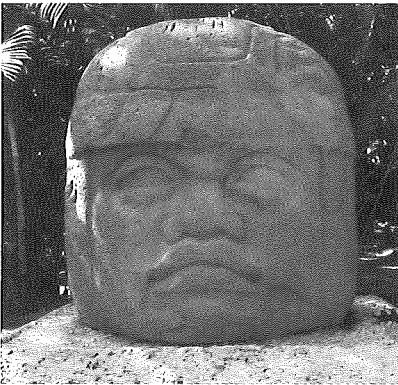
資料A



資料B



資料C



資料D



資料E

設問1 資料Aに代表される女性裸像とその製作された時代について説明した以下の文章ア～エの中から正しいものを一つ選び、マーク解答用紙の所定欄にマークしなさい。

- ア 食料生産段階に入っていた当時の社会では、豊かな乳房や臀部を表現した像は多産と豊穡を祈願する呪術的要素を備えたものであった。
- イ 最終氷期を終え、気候が温暖湿潤化し、植物相や動物相に変化が現れ、次第にマンモスなどの大型哺乳類が絶滅していった。
- ウ この時代の女性裸像で現存するものは岩石や象牙などで作られており、ヨーロッパを中心に北アフリカの一部やメソポタミア方面にまで分布している。
- エ アルタミラなどの洞穴絵画遺跡は同じ時代の所産である。

設問2 資料Bはメソポタミア南部に最初の都市文明を築いた人びとによって作られた祈りを捧げる参拝者の像である。19世紀、この都市文明の遺物、遺跡は外国調査隊によって発掘されたが、フランス隊によって発掘された都市遺跡をア～エの中から一つ選び、マーク解答用紙の所定欄にマークしなさい。

- ア ニネヴェ イ ウル ウ ラガシュ エ ハットウシャ

設問3 資料Cに関連する以下の文章の中で誤っているものをア～エの中から一つ選び、マーク解答用紙の所定欄にマークしなさい。

- ア 資料Cはインダス川下流域、パンジャーブ地方にあるモエンジョ＝ダエロ遺跡から出土した。
- イ 沐浴場や道路を含む都市遺跡が知られているが、大規模な宮殿や王墓は確認されていない。
- ウ 動物や文字が刻まれた石製の印章が発見されているが、その文字は未だ解読されていない。
- エ この文明の担い手はドラヴィダ系の人びとであると考えられており、メソポタミア地域とも交易をおこなっていた。

設問4 資料Dに関連する以下の文章の中で正しいものをア～エの中から一つ選び、マーク解答用紙の所定欄にマークしなさい。

- ア 大型の家畜としてラクダ科動物を飼育し、トウモロコシ、ジャガイモ、トマト、トウガラシなどを栽培化した。
- イ この文明を特徴づけるものとして資料Dのほかにもジャガー崇拝をうかがわせる石製品やヒスイ製品などが知られている。
- ウ 硬い石材の加工に不可欠な金属器は、冶金技術を持たなかったために交易を通じて他地域から入手していた。
- エ 資料Dを残した人びとは文字の代わりに縄の結び目、太さや色を変えることによって情報を記録していた。

設問5 資料Eに関連した以下の文章を読んで、(1) (2)について答えなさい。

資料Eは前3世紀に中国を統一した A の皇帝の陵墓に付随するもので、数千体が発見されている。資料Eの像は東を向いているが、これは A を含む戦国七雄のうち、残りの六国を威圧するためだったとも言われている。
B

- (1) 空欄Aに入る国名を記述解答用紙の所定欄に記しなさい。
- (2) 下線部Bのうち、晋を三分して成立した国をすべて記述解答用紙の所定欄に記しなさい。

〔Ⅱ〕 世界史上の文化や思想について述べた次の文章 i と ii を読み、設問 1～10 に答えなさい。

i 古代ギリシア文学の劈頭を飾るのは、前 8 世紀のホメロスの叙事詩^Aである。続く前 7 世紀と前 6 世紀にはサッフォーなどによる叙情詩^Bが、前 5 世紀には悲劇と喜劇^Cがそれぞれの世紀を代表するジャンルとなった。そして、古代ギリシアの最後の世紀に当たる前 4 世紀は、哲学と弁論^Dの時代だった。古代ギリシアでは、それぞれの世紀を一つのジャンルが支配し、また作家は一つのジャンルにしか手を染めなかったとされている。現代の文学の主流をなす小説はもっとも遅くに現れたジャンルで、現存する作品の多くは 2 世紀以後のローマ帝国^Eの時代に書かれたものである。古代ギリシア文学は、古代のラテン文学とともに、ルネサンス以後、古典としての特別な位置を西欧の歴史の中で占めることになった。

ii ルネサンスの F 主義は、^G 中世のキリスト教的価値観から個人の尊厳を重んじる人間中心の価値観への転換に大きく貢献した。16 世紀にカトリック教会を批判したルター^Hの宗教改革は、神の前に立つ個人の意義を強調した。ラブレ^Iの「欲するところをなせ」、ルターの「私はここに立っている。…神よ私を助け給え」などの言辞の登場は、近代的な個人主義の誕生をも意味すると言われる。

だが、いくら個人の価値や尊厳が認識されるようになって、近世の人びとはいまだ強力な君主権の下に生きていた。こうしたなか、18 世紀に入り、啓蒙思想家たちは、身分制や封建制度上の諸特権を問題視し、因習や迷信に縛られた人びとの解放を目指して実践をはじめた。つまり、F 主義者によって論じられていた個人の価値や尊厳の実現は、ルソー^Jやモンテスキューの哲学、なにより、絶対王政の打倒を目指したフランス革命の人権宣言を待たねばならなかったのである。

設問 1 下線部 A に関連して、「怒りを歌え、女神よ、ベレウスの子アキレウスの」で始まる、トロイア戦争中の出来事を歌ったホメロスの作品のタイトルを記述解答用紙の所定欄に記しなさい。

設問 2 下線部 B に関連して、古代ギリシア・ローマの叙情詩人について述べた文として正しいものを次のア～エの中から一つ選び、マーク解答用紙の所定欄にマークしなさい。

- ア サッフォーは、キオス島出身の女性だった。
- イ ピンダロスは、ペロポネソス戦争で活躍したアテネの勇者を讃える歌を作った。
- ウ ホラティウスは、アウグストゥス帝の時代に活躍した。
- エ オウィディウスは、ハドリアヌス帝によって流刑に処せられた。

設問 3 下線部 C について述べた下記の文 a と b の正誤の組み合わせとして正しいものを次のア～エの中から一つ選び、マーク解答用紙の所定欄にマークしなさい。

- a アISKYUROS は、ソフォクレスらとともに三大悲劇詩人の一人とされ、トロイアの王家の不幸を主題とした『アガメムノン』を作った。
- b 『女の平和』を作ったアリストファネスは、ペルシア戦争中のアテネで活動し、ペルシアの専制主義を風刺した。

- ア a－正 b－正
- イ a－正 b－誤
- ウ a－誤 b－正
- エ a－誤 b－誤

設問 4 下線部 D に関連して、『国家論』や『カティリーナ弾劾』などを著したことで知られる古代ローマの弁論家・政治家の名を記述解答用紙の所定欄に記しなさい。

設問 5 下線部 E に関連して、古代ローマの建造物について述べた文として正しいものを次のア～エの中から一つ選び、マーク解答用紙の所定欄にマークしなさい。

- ア 前 4 世紀に建設が始まったアッピア街道は、ローマとミラノを結んでいた。
- イ 南ドイツに現存するガール水道橋は、前 1 世紀に建造された。
- ウ ローマ市に現存するコロッセウムは、2 世紀のトラヤヌス帝の時代に建造された。
- エ ローマ市内には、3 世紀のカラカラ帝によって建てられた公共浴場が現存する。

設問 6 空欄 F に当てはまる適切な語句を記述解答用紙の所定欄に記しなさい。

設問 7 下線部 G に関連して、騎士の冒険やロマンスを題材とした騎士道文学、または、騎士道に関連する小説について述べた文として誤っているものを、次のア～エの中から一つ選び、マーク解答用紙の所定欄にマークしなさい。

- ア 『ローランの歌』は、カール大帝のイベリア半島におけるイスラームとの戦いを題材として、騎士ローランの武勇を描いている。
- イ 『アーサー王物語』は、ローマ人の英雄アーサー王とその宮廷に集った円卓の騎士たちの冒険やロマンスを題材にしている。
- ウ 『ニーベルンゲンの歌』では、ゲルマン人の伝説の英雄ジークフリートの死とその妻の復讐が描かれている。
- エ 『ドン＝キホーテ』では、自らを騎士と錯覚し、従者とともに冒険に出かけたドン＝キホーテの行動が社会風刺も交えて描写されている。

設問 8 下線部 H の人物は、人は信仰によってのみ救済されると説いた。この説の名として正しいものを、次のア～エの中から一つ選び、マーク解答用紙の所定欄にマークしなさい。

- ア 信仰義認説 イ 唯名論 ウ 三位一体説 エ 単性論

設問 9 下線部 I の人物に関連して、F 主義者の名とその著書名との組み合わせとして誤っているものを、次のア～エの中から一つ選び、マーク解答用紙の所定欄にマークしなさい。

- ア ペトラルカ - 『叙情詩集』
- イ ボッカチオ - 『デカメロン』
- ウ エラスムス - 『愚神礼賛』
- エ モンテーニュ - 『パンセ』（『瞑想録』）

設問 10 下線部 J の人物が著した『社会契約論』の主たる内容として正しいものを、次のア～エの中から一つ選び、マーク解答用紙の所定欄にマークしなさい。

- ア 自然状態において各人が有する平等権・自由権の確保を目的に、各人が契約のもとに政府を構成すべきと主張し、人民主権原理を打ち出した。
- イ 自然状態は自然法によって規律されると説き、戦時における各国の守るべき義務を述べて、国際法を体系化した。
- ウ 自然状態において各人は自然権を主張して闘争状態に陥るが、その解決のために人は相互に契約して政府を樹立し、為政者に自然権を委ねたと主張した。
- エ 自然状態において平和や自由を享受する人間は、契約により自然権の一部を移譲して政府を形成したと考えたほか、三権分立の必要性を主張した。

〔Ⅲ〕 次の文章を読み、設問 1～8 に答えなさい。

朝鮮は、古くから中国と交流があり、すでに戦国七雄の一部国家と貿易や武力衝突などの接触があったとされる。漢代には、朝鮮半島西北部に **B** が設置され、約400年、中国王朝の直接支配を受けた。**B** を通じて、漢字、木簡、儒教經典などの文物が朝鮮に伝来したと推測される。

4世紀、中国王朝の支配から自立した高句麗と百済が勢力を拡大し、少し遅れて新羅も成長した。この三国は、自国の政治的優位を盤石なものとするために、それぞれ中国の北朝、南朝に朝貢した。南北両朝は、朝鮮三国に官位や称号を与え、自国の影響下にとりこもうとした。

7世紀後半、新羅は、唐にならった国家統治のシステムを築く。当時の中国王朝は、**D** 科挙による官僚登用制度、律令制度、**E** 都城制などの先進的なシステムをもっていた。また、唐から冊封されて名目上は臣下となっていた新羅王は、国内においては自らを「朕」と称し、皇帝のようにふるまうことがあった。

高麗も、五代十国を統一した宋から冊封され、多くの制度や文化を模倣した。一方で遼（契丹）、西夏などの諸勢力の伸長によって、中国王朝が絶対的優位にない時には、「皇帝」を称していた時期もあった。国内では皇帝のごとく、中国には皇帝の臣下としてふるまう形式は、1259年、高麗がモンゴルに降伏し、その冊封を受けて服属させられるまで続いた。

1392年、**G** によって建国された朝鮮王朝は、朱子学を官学として受容し、明に対しては「事大」という形式で臣下の立場をとった。しかし、満洲人による清が成立すると、清から冊封を受けつつも、清を夷狄視して朝鮮こそが明から中華の正統性を継承した文明国であるという意識を強くした。その一方で北京に燕行使とよばれる外交使節を派遣し、**H** 清に流入していた西洋の科学技術や思想、宗教なども受容した。

設問 1 下線部 A に関して、東に朝鮮と境界を接していた戦国七雄の一つのある国で主に使用された貨幣は、朝鮮半島でも発見されている。その貨幣として適切なものは何か。次のア～エの中から一つ選び、マーク解答用紙の所定欄にマークしなさい。

ア 刀銭 イ 蟻鼻銭 ウ 貨泉 エ 五銖銭

設問 2 空欄 B を設置したのと同時期に、漢が現在のベトナム中部に設置した郡名として適切な語を記述解答用紙の所定欄に記しなさい。

設問 3 下線部 C に関して、正しい記述を次のア～エの中から一つ選び、マーク解答用紙の所定欄にマークしなさい。

- ア 広開土王碑には、倭、百済、北斉と戦って勝利したことが記されている。
- イ 隋の煬帝に攻め込まれ、占領された土地には安東都護府が設置された。
- ウ この国の王は、紙・墨の技術を持つ僧侶を倭に派遣した。
- エ 帶方郡を減ぼし、都を丸都から平城に移した。

設問 4 下線部 D に関して、朝鮮における科挙制度の説明について、正しい記述を次のア～エの中から一つ選び、マーク解答用紙の所定欄にマークしなさい。

- ア 唐から科挙制度を導入した新羅は、血縁主義的な骨品制を廃止して人材を登用した。
- イ 高麗時代、科挙を通過しなければ官位に就くことができず、武人が政権を握ることはなかった。
- ウ 朝鮮時代には身分を問わず、男性であれば全員科挙を受験する資格が与えられ、両班は没落した。
- エ 日清戦争中に成立した開化派政権が甲午改革を実施し、科挙を廃止した。

設問 5 下線部 E に関する次のア～エの記述を時代順に並べ替え、古いほうから二番目にくるものをマーク解答用紙の所定欄にマークしなさい。

- ア 上京竜泉府が長安を模倣して造営された。
- イ 漢城に造営された景福宮は、文禄・慶長の役（壬辰・丁酉倭乱）で焼失した。
- ウ 現在の北京市域に大都が建設された。
- エ 地方豪族の王建が開城を都として朝鮮半島を統一した。

設問 6 下線部 F に関して、正しい記述を次のア～エの中から一つ選び、マーク解答用紙の所定欄にマークしなさい。

- ア 領有することになった華北の一部に、北面官を置いて農耕民を支配した。
- イ 後周を援助した見返りとして、燕雲十六州を獲得した。
- ウ 耶律阿保機は、諸部族を統一して皇帝となり、926年には渤海を滅ぼした。
- エ 宋とは澶淵の盟という和議を結び、宋を兄として毎年絹20万匹などを送った。

設問 7 空欄 G に当てはまる人名を漢字で記述解答用紙の所定欄に記しなさい。

設問 8 下線部 H に関して、誤っている記述を次のア～エの中から一つ選び、マーク解答用紙の所定欄にマークしなさい。

- ア 円明園の西洋建築を設計したカステリオーネは、乾隆帝の肖像画も描いた。
- イ フランス出身のアダム＝シャルは、徐光啓とともに『崇禎曆書』を作成した。
- ウ 宣教師ブーヴェらの尽力によって、中国全土の実測図『皇輿全覧図』が完成した。
- エ 雍正帝は、キリスト教の布教を禁止したが、ひきつづき宣教師を技術者として雇用した。

〔Ⅳ〕 次の文章を読み、設問 1～7 に答えなさい。

13世紀のモンゴルの拡大は、西アジアのイスラーム圏にも大きな影響を及ぼした。セルジューク朝やゴール朝を滅ぼしてイラン地方からアフガニスタン地方まで勢力を広げていたホラズム＝シャー朝は、1220年にチンギス＝カン（ハン）率いるモンゴル軍の侵攻によって崩壊し、その後滅亡した。

1236年から始まる **B** の西征により、黒海北岸の広大な草原地帯がモンゴルによって征服されると、この地に住んでいたトルコ系遊牧民が奴隷としてエジプト・シリアに大量に運ばれるようになり、アイユーブ朝の君主や軍人たちは大規模なマムルーク軍団を編成することが可能になった。1248年にルイ 9 世が率いる十字軍がエジプトに侵攻すると、マムルーク軍団がそれを撃退するうえで大きな役割を果たしたが、戦後にクーデターを起こし、マムルーク朝を成立させた。

フレグ（フラグ）の西アジア遠征によって1258年にバグダードが征服され、アッバース朝は滅亡した。その後シリアへ進出したモンゴル軍を撃破したマムルーク朝は、エジプト・シリアの支配を固めた。スルタンとなったバイバルスは、黒海北岸の草原地帯を支配する **G** ボスフォラス海峡を支配するビザンツ帝国、黒海・地中海で海上交易に従事するジェノヴァなどと友好関係を結び、黒海・地中海を経てエジプトに至る奴隷貿易ルートを安定させてマムルーク軍団の拡充に努め、イル＝ハン国や十字軍国家と戦った。

設問 1 下線部 A の王朝はインドにも進出した。インドのイスラーム王朝に関連して、次のア～エの記述の中から誤っているものを一つ選び、マーク解答用紙の所定欄にマークしなさい。

- ア ゴール朝の軍人アイバクが、デリーに奴隷王朝をひらいた。
- イ ロディー朝は、パーニーパットの戦いでパールの軍に敗れた。
- ウ ムガル帝国の皇帝アクバルは、回想録『アクバル＝ナーマ』をアラビア語であらわした。
- エ ムガル帝国の皇帝シャー＝ジャハーンは、アグラにタージ＝マハルを建設した。

設問 2 空欄 B の人物が空欄 G の国を設立した。空欄 B と空欄 G に入る語を、記述解答用紙の所定欄に記しなさい。

設問 3 下線部 C の人物の治世にモンゴル帝国に赴いたある人物は、カラコルム近郊でモンゴル皇帝（カアン）のモンケに会い、帰国後モンゴルに関する情報を報告書にまとめた。この人物の名前を、記述解答用紙の所定欄に記しなさい。

設問 4 下線部 D の王朝に関して、次のア～エの記述の中から誤っているものを一つ選び、マーク解答用紙の所定欄にマークしなさい。

- ア イクター制を廃止し、ティマール制を導入した。
- イ カーリミー商人は、この王朝の時代に香辛料貿易で活躍した。
- ウ 首都カイロに多くのマドラサや宗教施設が建設され、ワクフによって運営された。
- エ イスラームの 3 つの聖地であるメッカとメディナとイエルサレムを支配した。

設問 5 下線部 E の後にイラン地方を支配した王朝に関連して、次のア～エの記述の中から誤っているものを一つ選び、マーク解答用紙の所定欄にマークしなさい。

- ア イル＝ハン国の宰相ラシード＝アッディーンは、『集史』を編纂した。
- イ ティムールは、チンギス＝カン（ハン）の直系子孫と称し、カン（ハン）の称号を名乗った。
- ウ サファヴィー朝の創始者イスマーイールは、チャルディランの戦いでオスマン帝国のセリム 1 世に敗れた。
- エ ガージャール朝（カージャール朝）はロシアとの戦いに敗れ、トルコマンチャーイ条約を結んだ。

設問 6 下線部 F の後の出来事として、次のア～エの記述の中から正しいものを一つ選び、マーク解答用紙の所定欄にマークしなさい。

ア イブン＝ハルドゥーンが『世界史序説』をあらわした。

イ イブン＝シーナーが『医学典範』をあらわした。

ウ タバリーが『預言者たちと諸王の歴史』をあらわした。

エ イブン＝ルシュドがアリストテレスの著作の注釈書をあらわした。

設問 7 下線部 H に関連して、1204年にコンスタンティノーブルを奪われたビザンツ帝国は、その亡命政権が1261年にこの都市をある国から奪還したことで、再興された。この時コンスタンティノーブルを奪われた国の名前を、記述解答用紙の所定欄に記しなさい。

〔V〕 次の文章を読み、設問 1～3 に答えなさい。

2024年オリンピックが開催されたパリでは、それより150年前の1874年、第一回印象派展が開かれた。図Aは同展に出品された作品の一点で、印象派という呼称は、この絵のタイトルに由来するといわれる。印象派の画家たちは、身近な自然や近代都市など、同時代の風景や社会を、アカデミック美術とは異なる新しい作風で生き生きと描写した。

印象派の絵画表現は、近代社会がいよいよ進展した日清戦争後の日本でも、新鮮さと開放感をもって受け入れられた。影響は洋画にとどまらず、日本のアジア進出にともなって海外へも関心を向けるようになった日本画の画壇にも及んだ。そうした中で、明治30年代から大正時代にかけては、新たな画題を求めてインドを訪れる日本画の画家たちが相次ぎ、奈良の法隆寺金堂壁画の源泉とみなされた **B** 石窟の壁画が模写された。



図A

設問 1 図Aの作者と作品名を記述解答用紙の所定欄に記しなさい。

設問 2 印象派が活躍した時代のパリと美術に関する説明で、誤っているものを次のア～エの中から一つ選び、マーク解答用紙の所定欄にマークしなさい。

ア パリでは1867年に開催された万国博覧会で、日本の幕府や薩摩藩が出品した文物を通じて日本美術が広く知られるようになり、ジャポニズムが流行した。

イ ロンドンについて1872年、パリにデパートが出現すると、そこで大量に販売されるようになった中国の品物を通じてシノワズリーが流行した。

ウ パリの地下鉄は、万国博覧会が開催された1900年に開通し、入り口のデザインは当時流行したアール＝ヌーヴォー様式による。

エ パリ改造は第二帝政時代にセーヌ県知事オスマンにより推進され、道路網や上下水道の整備が行われたが、その様子は印象派の絵にも描かれた。

設問 3 空欄Bに入るインド西部の石窟寺院の名を、記述解答用紙の所定欄に記しなさい。

〔以 下 余 白〕